

祝園弾薬庫問題を考える 夏の大学習会

『元自衛官が見る日本の安全保障』

みんなで学ぼう！

参加費無料！ カンパ歓迎です



8/25(日) 2:00~4:00

精華町むくのきセンター4F

精華町下狛神ノ木 8 番地 Tel0774-98-0200(最寄り駅 近鉄狛田駅 JR下狛駅下車徒歩 15 分)

【講師ご紹介】 小西 誠さん (元航空自衛官・軍事評論家)

4月に行った祝園弾薬庫増設計画の開示請求に、防衛大臣は驚くべき回答。「6月に一部を開示、残りは、26年7月開示」と。これは事実上の完全隠蔽。対中国戦争態勢へ突き進むための強権的隠蔽ではないか。祝園では住民説明会もないというが、これも住民無視の典型。大分敷戸では住民説明会後に7棟増設を決定するという。自衛隊の強権が目に見える。この住民無視の行動は、22年安保関連文書策定による戦争態勢づくりと無縁ではない。大軍拡の核心は、ミサイル戦争態勢の構築であり、そのための長射程ミサイルの開発・配備そして量産化だ。3文書では、継戦能力・抗湛化と明記するが、弾薬の戦時大量備蓄、基地の地下化がその内容だ。学習会ではこれらの全体像を明らかにしたい。

(小西さんのメッセージより)

PEACE PARADE

みんなで歩こう！

★ 精華町役場付近 START

5:00~



京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク

事務局連絡先: 電話 090-3627-2925 メールhosonomissilemag24@outlook.jp

どうなるの？みんなの暮らし

私たちの町に巨大弾薬庫ができるということを考えてみて下さい。
あなたの国が戦争のできる国となることを想像してみてください。

今こそ 『Imagine all the people living life in peace.』



祝園弾薬庫の歴史から学ぶ

- 1939.3.1 禁野弾薬庫の大爆発（枚方にあった陸軍の火薬庫）
死者 94 名、負傷者 602 名
家屋全半壊 821 戸、被災 4,425 世帯、8,300 名
- 1941.4 祝園支所開所
東洋一の弾薬庫と呼ばれる
- 1945～1958 米軍の弾薬庫として利用
- 1958 基地反対運動・町民と議会が一体となって
- 1960.2.26 町と防衛庁間で『確認書』が交わされ、基地存続。



2024 ミサイル弾薬庫 8 棟増設計画が浮上！

基地返還運動の結果、先人たちにより勝ち取られた「確認書」を今こそしっかり理解し生かす時です。

『確認書』に書かれていることは… (一部紹介)

- 用地及び貯蔵施設の拡張はしない
- 貯蔵能力以上は貯蔵しない、増加する場合は事前に町側と協議する
- 町の発展と町民福利に有形無形の協力をする
- 消防に関して全面的に協力する
- 取り決め事項は、申し送り後任者に引き継ぎ確実に履行する

今できること → 学ぶ！考える！声をあげる！行動する！

主権者である私たちは、防衛省に祝園弾薬庫の拡大整備について説明会の開催を要望します。

そのための署名を集めましょう！



オンライン署名



Facebook



Instagram



X:Twitter

京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク

事務局 TEL 090-3627-2925 メール hosonomissilemag24@outlook.jp

